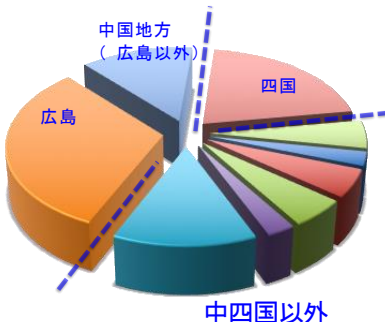


◀後期研修医実績▶

- 全国区で後期研修医が集まっています
- H19-29年度の11年間で38名



◀交通アクセス▶

【新幹線・JR】

- JR 広島駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 2系統(約12分)
⇒『紙屋町東』下車 徒歩(約7分)
- JR 横川駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 7系統(約13分)
⇒『紙屋町西』下車 徒歩(約9分)

【バス】

- 『広島バスセンター』下車 徒歩(約7分)

【アストラムライン】

- 『県庁前』下車 地下道より直通 徒歩(約5分)

【飛行機】

- 広島空港からリムジンバス(約50分)
⇒『広島バスセンター』下車 徒歩(約7分)

麻酔科集中治療部スタッフ



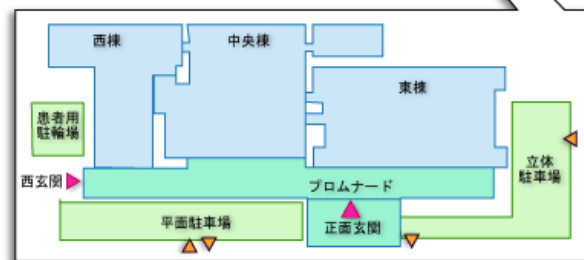
広島市立広島市民病院

〒730-8518
広島県広島市中区基町7番33号
電話番号: 082-221-2291(代表)
FAX 番号: 082-223-5514(代表)
<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

◀病院見学等問合わせ先▶

麻酔科集中治療部 主任部長 藤中和三

e-mail: waso-f@city-hosp.naka.hiroshima.jp



2020年度
専攻医志望の皆様へ
広島市立広島市民病院
麻酔科集中治療部
のご案内
基幹型
麻酔科領域専攻医募集

当院は、基幹型・麻酔科専門研修プログラムの基幹施設です。

	基幹型専門研修プログラム名	募集 期間
基幹施設	広島市立広島市民病院麻酔科専門研修プログラム	6名 4年
連携施設	岡山大学病院・岩国医療センター・呉共済病院 尾道市立市民病院・興生総合病院・三原赤十字病院 高知大学医学部付属病院・昭和大学病院	



こんな麻酔科と一緒に働いてみませんか？

最高の仲間と、
最高の場所で、
最高の研修を！

地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

『広島市民病院 3つのこだわり』

①周術期の一貫管理

②おじいちゃんおばあちゃんからこどもまで

③多彩な人が混ざるアットホームな空間

麻酔科集中治療部主任部長 鷹取 誠

当院麻酔科は広島市の高度先進医療を担う当院の中核として、「麻酔科医は全身管理のプロ:Critical Care Physician」であるというコンセプトのもと、手術室における最新の麻酔管理は無論のこと、集中治療室でICU専従医としても活躍する全国に誇りうる「麻酔科集中治療医師グループ」を構成しています。麻酔と集中治療を一括管理することには非常に大きな意味があります。麻酔も、集中治療も現在の医療全体で求められている「集学性」が最も求められる分野です。分析的な思考とともに、統合的な思考が重視されます。当院での研修を受けていただければ実感できると思いますが、私は麻酔をベースにしたICU患者管理、ICUをバックボーンとした麻酔管理は患者さんに対して非常に大きなメリットをもたらすことができると考えています。また、このような集学性を発揮できる環境は個人と組織がともに学習する、卒後教育にも最適な環境です。現在のスタッフは計28名で、特に若い仲間は、北は北海道、南は九州から、全国規模で研修に来られています。ともに学習し発展する組織で全身管理のプロとしての研修を積んでみませんか。

後期研修医 H26年卒 藤田 千尋

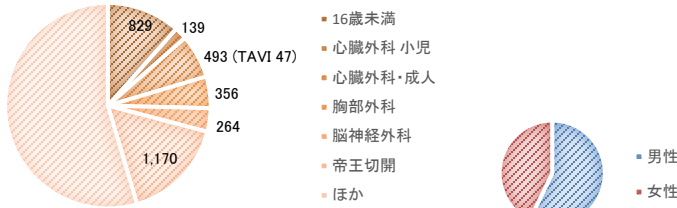
女性医師には将来的に出産・育児に伴う休業期間があり、純粋にキャリアの向上を突き詰められないのは大変悩ましいです。私の後期研修は育児期間に始まり、実家は県外で子どもの世話をできるのは私のみという育児環境において、仕事と育児を両立できているのは、当科がママさん医師に対して十分な理解・協力があるからだと思います。復帰後から徐々に勤務を増やし、当直や休日勤務は免除していただいております。さらに子どもの都合で欠勤や保育園からの呼び出しにも負担なく過ごしています。こどものペースに合わせながら日々症例経験を積み、私は小さい頃からの夢だった医師の仕事ができています。出産・育児をしながらキャリアを築くこと、この両立を実現するためのマンパワー、上司の理解、同僚のサポートが揃っている素晴らしい環境であることを私が保証します。

後期研修医 H27年卒 松下 裕貴

当院の特色は手術麻酔が豊富で、集中治療室の患者さんも担当医として診られることです。私は上級医の勧めで当院の後期研修を選びました。はじめは症例の多さであったり、心臓麻酔も3年目から担当すること、同時に集中治療室の診療も行うということに追われ、ついていくのがやっとでした。現在も不十分ではありますが徐々に慣れてきたという印象です。特に小児の心臓麻酔に関わる機会はそう多くはないと思いますし、自分を成長させるにはとても充実しているところだと思います。麻酔も集中治療も同時に学ぶことは大変ですが、やりがいという点ではこれ以上のことはありません。重症例はなんでも診たいという気持ちがある方にはとても良い研修施設だと思います。

《充実した症例数&指導体制》

■平成29年度 手術件数(中央手術室) 10,023例
麻酔科管理症例 7,157例
ASA-PS≥3の症例割合 1,164/7,157
麻酔困難加算対象 461/5,955(全身麻酔)



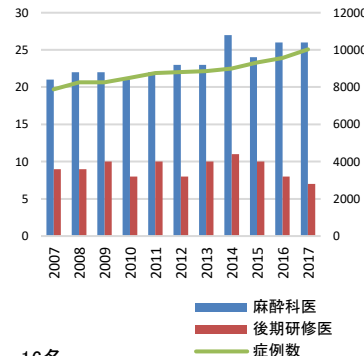
ICU入室症例 782例(うち16歳未満 115例)

- スタッフと研修医がペアとなる担当医制度
- ママさん医師 4名
- ICU専属期間も選択可能
- 入局しなくても大丈夫

麻酔科集中治療部所属 28名

- 麻酔科標榜医 22名
- 麻酔科専門医 14名
- 麻酔科指導医 6名
- 心臓血管麻酔専門医 9名
- 集中治療専門医 7名
- 日本小児麻酔学会認定医 6名
- 日本区域麻酔学会認定医 1名
- 小児科専門医 1名
- DMAT 1名

(経食道心エコー認定試験)JB POT 16名
PTEeXAM, ASCeXAM 1名



麻酔科専門医研修プログラム責任基幹施設

- 関連施設: 岡山大学病院
高知大学病院
昭和大学病院
岩国医療センター、呉共済病院、尾道市立市民病院、三原赤十字病院
興生総合病院(三原)

医員 H17年卒・小児科専門医 宮本 将

成人重症例のみならず、最近では小児症例でも人工呼吸療法や血液浄化療法等の介入により助けられる命が増えてきています。小児医療の中ではいまだ重症症例を病棟や救命センターで診ざるをえず、一般小児科医や子どもに不慣れな救急医にお任せする状況が続いています。小児科医は全身管理の基礎を学び、救急・集中治療医は小児の経験を積み必要があります。ここでは色々な経験をもった人が集まり、知識や経験を寄せて診療にあたっています。将来的な方向性に縛りはありません。みんなでこども達の未来を守るよう、ここで一緒に勉強してみませんか。

《取得可能な専門医資格》

- 日本麻酔科学会認定麻酔指導病院
- 日本集中治療医学会専門医研修認定施設
- 日本心臓血管麻酔学会専門医認定施設
- 日本急性血液浄化学会認定指定施設

《勉強会&チーム医療》

テーマごとに研修医主体の勉強会をしています

スタッフ&研修医&コメディカルで合同カンファレンス
ICUはチーム医療の真髄
院外活動(セミナー・学会のお手伝い)にも参加しています

《週間スケジュール》

当直: 4-5回/月 Call: 0-1回/月
当直は毎日3人体制・土日祝日はCall 1人を加えて4人の当番制
当直明けは早退も可能・午後出勤になる日も
働き方改革(時間外労働を短く!!) 実践中

《年間経験症例数》

後期研修医 8名(平成29年度実績)

■麻酔担当症例 平均 450-490症例/年

日本麻酔科学会専門医取得に必要な4年間の経験必要症例数プログラム在籍期間中にすべて取得できます

後期研修医2年目の年実績(カッコ内は経験必要症例の数)

6歳未満(25)	23例
帝王切開(10)	21例
心血管麻酔(25)	26例
胸部外科(25)	17例
脳神経外科(25)	16例

■後期研修医のICU入室担当症例 平均 60-70症例/年

- ①心臓血管外科手術術後 40-65%
- ②他科手術術後 20-25%
- ③内科症例 10-35%

卒業生 H22年卒・救急医 秦 昌子

救急診療で緊迫する瞬間は循環・呼吸の不安定な状態を目の当たりにしたときです。救急は全身麻酔と関係が少なく感じられるかもしれませんが、麻酔科は手術中の循環・呼吸の変化を五感で感じ取る領域であり、その感性は手術室の外でも生かされるものです。また気管挿管・ライン確保などの手技についても、プロとして丁寧・細やかさまで追求して研修することができます。救急には様々な経歴の医師が多いですが、麻酔科での経験も同様に十二分に発揮できるものと考えています。将来は救急を、と思っている人も是非一つの選択肢として考えてみてください。